

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年2月5日(2015.2.5)

【公表番号】特表2014-506956(P2014-506956A)

【公表日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-015

【出願番号】特願2013-556891(P2013-556891)

【国際特許分類】

C 08 L 83/04 (2006.01)

【F I】

C 08 L 83/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月12日(2014.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

I ) 以下のA及びBを含む混合物を形成する工程と、

A ) 100重量部の疎水性油、

B ) 1~100重量部の、少なくとも1つの界面活性剤を有する水連続エマルション、

I I ) 更なる量の前記水連続エマルション及び/又は水を、工程I ) で得られた混合物と混合して、二峰性エマルションを形成する工程と、

を含む、二峰性水連続エマルションの製造方法。

【請求項2】

工程I ) の混合物が、本質的に成分A ) 及びB ) からなる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

工程I I において、更なる量の前記水連続エマルション及び/又は水を、漸増させながら、工程I で得られた混合物に添加し、各增加分が、工程I で得られた混合物の50重量%未満を含み、水連続エマルションの各增加分が、水連続エマルション及び/又は水の前の增加分の分散後に前のものに順次添加され、十分な增加分の水連続エマルション及び/又は水を添加して、二峰性エマルションを形成する、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記疎水性油が、シリコーンである、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項5】

前記疎水性油が、有機油である、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項6】

前記水連続エマルションが、シリコーンエマルションである、請求項1~5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記水連続エマルションが、有機エマルションである、請求項1~5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記混合物に添加される前記水連続エマルション及び/又は水の量が、少なくとも75重量%の成分A ) 及びB ) を含有する二峰性エマルションを与える量である、請求項1~

7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記エマルションが、100,000 cP 未満の粘度を有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記二峰性エマルション中の界面活性剤濃度が、1重量%未満である、請求項1～9のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記二峰性エマルションが、1重量%未満のシクロシロキサンを含有する、請求項4又は6に記載の方法。

【請求項 12】

請求項1～11のいずれか一項に記載の方法によって製造される、二峰性エマルション。